

多文化共生のための外国人住民実態・意識調査

【実施方法】

○回答受付期間: 令和 6 年 9 月 24 日(火)～11 月 8 日(金)

○実施言語 : 6言語(日本語・英語・中国語・ベトナム語・インドネシア語・スペイン語)

○回答数 : 172 サンプル

※ 構成比(割合)は四捨五入しているため、合計が 100.0%にならない場合があります。

●回答者の属性

(01) 国籍

順位	国名	人数
1	インドネシア	40
2	ベトナム	31
3	中国	26
4	ミャンマー	15
5	アメリカ	12
一	上記以外	38
一	未回答	10
	合計	172

(02) 年齢

年齢	人数
～19 才	10
20～29 才	109
30～39 才	45
40～49 才	7
50～59 才	1
合計	172

(03) 在留資格

在留資格	人数
留学	62
技能実習	42
特定技能	21
技術・人文知識・国際業務	14
教育	12
永住者	7
日本人の配偶者等	6
介護	2
家族滞在	2
上記以外	4
合計	172

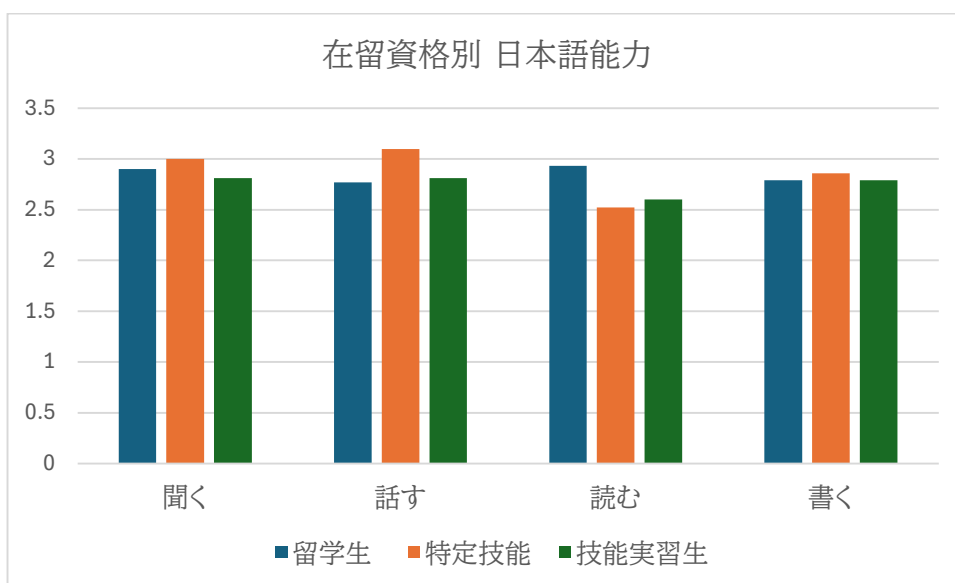
(04) 日本での生活期間について

在住年数	人数
6か月未満	26
6か月以上～1年未満	27
1年以上～3年未満	60
3年以上～5年未満	17
5年以上～10年未満	29
10年以上～15年未満	2
15年以上	11
合計	172

I. 日本語について

(05) 日本語はどれくらいできますか。

技能	上級	中級	初級	ほとんどできない
聞く(172)	28 (16.3%)	124 (72.1%)	15 (8.7%)	5 (2.9%)
話す(171)	23 (13.5%)	120 (70.1%)	23 (13.5%)	5 (2.9%)
読む(171)	46 (26.9%)	62 (36.3%)	52 (30.%)	11 (6.4%)
書く(172)	26 (15.1%)	106 (61.6%)	31 (18.0%)	9 (5.2%)



※設定スコア: 上級=4点、中級=3点、初級=2点、ほとんどわからない=1点)

▶ クロス集計結果の解釈と分析のポイント

○特定技能・技能実習生は「聞く・話す・書く」において中級以上の回答割合が高い一方、「読む」に関しては中級以上の回答が半数程度(特定技能 52%、技能実習 45%)に留まる。実務上のコミュニケーションに比べ、読解能力に課題を抱える層が多い。一方、留学生は、全技能において「上級」の回答者が最多である一方、「初級以下」の割合も高く、評価の二極化が顕著である。特に「読む」においては全資格中で最高水準の回答結果となっている。

○留学生グループには、日本人学生と同様の専門教育を受ける層や日本語学校での進学準備層(高度習得層)と、英語による学位取得コースの学生や来日直後の初学者層が含まれる。学習目的や滞在期間の多様さが、能力評価の大きな開きに直結している。

○本調査は自己評価に基づいているため、「限定的環境(職場等)」または「多様な環境(学業・生活等)」のどちらで日本語を使用しているかによって生じる評価基準の差異、および心理的バイアスを考慮する必要がある。

(06) 最近1年間で、ことばが理由で困ったことはありますか。(すべて選択)

順位	項目	実数	割合
1	役所の手続き	45	15.8%
2	郵便局・銀行の手続き	38	13.4%
3	仕事をするとき	30	10.6%
4	病気になったとき	27	9.5%
5	近所付き合い	21	7.4%
6	電車やバスに乗るとき	18	6.3%
7	日常生活や買い物	14	4.9%
8	仕事を探すとき	13	4.6%
9	学校の先生と話すとき	12	4.2%
一	その他	18	6.3%
一	困ったことはない	48	16.9%
	合計(のべ回答数)	284	100.0%

(07) 現在、どのように日本語を学んでいますか。(すべて選択)

順位	項目	実数	割合
1	自分で学習書やアプリを使って勉強している	83	33.1%
2	日本語学校に通っている	47	18.7%
3	会社で日本人従業員に教えてもらっている	27	10.8%
4	日本語教室に通っている	21	8.4%
5	日本人の友人・知人に教えてもらっている	20	8.0%
6	日本語のオンラインレッスンを受けている	20	8.0%
7	学習したいができていない	14	5.6%
8	日本語が不自由なく使えるので、学ぶ必要がない	11	4.4%
9	日本人以外の友人・知人に教えてもらっている	8	3.2%
	合計(のべ回答数)	251	100.0%

(08) 日本語学習について一番要望したいことは何ですか。

順位	項目	人数	割合
1	あまりお金をかけずに学びたい	28	16.3%
2	オンラインで自分の好きな時にレッスンを受けたい	26	15.1%
3	職場で日本語を学べる機会がほしい	24	14.0%
4	家の近くで日本語を学べる教室がほしい	21	12.2%
5	平日、夜間(仕事終わり)に参加できるクラスがほしい	13	7.6%
6	日本語学習についての情報がほしい	11	6.4%
6	日本語を学ぶ時間がほしい(忙しくて学ぶ時間がない)	11	6.4%
一	特にない・無回答	38	22.1%
	合計	172	100.0%

Ⅱ. 生活上の困りごと【生活について】

(09) 香川県に住んでいて、よいと思うところは何ですか。(すべて選択)

順位	項目	実数	割合
1	安全に暮らすことができる	105	15.8%
2	自然環境が豊か	97	14.6%
3	住宅環境がよい	75	11.3%
4	周囲の人が親切	73	11.0%
5	買い物が便利	68	10.3%
6	物価が安い	65	9.8%
7	交通が便利	57	8.6%
8	文化・レジャー施設が多い	25	3.8%
9	街中の案内表示がわかりやすい	23	3.5%
10	病気の時の対処がしやすい	20	3.0%
11	情報が豊富	16	2.4%
12	仕事を見つけやすい	13	2.0%
13	子育てや教育がしやすい	11	1.7%
—	その他	9	1.4%
—	特にない	6	0.9%
	合計(のべ回答数)	663	100.0%

(10) 香川県に住んでいて、困ることや嫌なことは何ですか。(すべて選択)

順位	項目	実数	割合
1	交通が不便	45	16.7%
2	文化・レジャー施設が少ない	34	12.6%
3	物価が高い	29	10.8%
4	買い物が不便	18	6.7%
5	仕事を見つけにくい	18	6.7%
6	情報が得にくい	15	5.6%
7	周囲の人が冷たい	13	4.8%
8	病気の時の対処がしにくい	9	3.3%
9	街中の案内表示がわかりにくい	7	2.6%
10	住宅環境が悪い	5	1.9%
11	子育てや教育がしにくい	2	0.7%
12	治安が悪い	1	0.4%
13	自然環境がよくない	1	0.4%
—	その他	16	5.9%
—	特にない	56	20.8%
	合計	269	100.0%

Ⅲ. 行政からの情報サービス 【生活情報・相談】

(11) 生活に必要なと思う情報は何か。(5つまで選択)

順位	項目	実数	割合
1	日本語学習	84	12.3%
2	仕事	74	10.8%
3	日常生活のルール	65	9.5%
4	保険・医療	64	9.4%
5	行政サービス	55	8.1%
6	在留資格やビザ	52	7.6%
7	住居	50	7.3%
8	町の案内	40	5.9%
9	防災	39	5.7%
10	イベント・観光・娯楽	36	5.3%
10	運転免許	36	5.3%
12	交流活動	35	5.1%
13	介護・年金・生活保護	30	4.4%
15	子育て・教育	9	1.3%
ー	その他	2	0.3%
ー	特になし	12	1.8%
	合計(のべ回答数)	683	100.0%

(12) 生活に必要な情報の入手先は何ですか。(すべて選択)

順位	項目	実数	割合
1	インターネット、SNS	122	29.5%
2	日本人の知人・友人	94	22.8%
3	日本人以外の知人・友人	53	12.8%
4	日本語のテレビ・ラジオ・新聞・情報誌	35	8.5%
5	外国人団体	24	5.8%
6	家族・親戚	23	5.6%
7	行政の窓口・広報誌・情報提供サービス	21	5.1%
8	日本語以外のテレビ・ラジオ・新聞・情報誌	17	4.1%
9	民間ボランティア	5	1.2%
ー	その他	19	4.6%
	合計(のべ回答数)	413	100.0%



(13) 香川県の行政サービスや制度で知っているものは何ですか。(すべて選択)

順位	項目	実数	割合
1	健康保険制度	95	25.1%
2	公的年金制度	50	13.2%
3	どれも知らない	44	11.6%
4	日本語教室	37	9.8%
5	予防接種	33	8.7%
6	その他の健康診断	23	6.1%
7	介護保険制度	20	5.3%
8	生活保護の適用	12	3.2%
9	母子健康手帳の交付	11	2.9%
9	乳幼児医療費負担の軽減制度	11	2.9%
11	児童手当・児童扶養手当の支給制度	10	2.6%
12	公営住宅への入居	7	1.8%
12	各種相談窓口	7	1.8%
12	保育園への入園	7	1.8%
12	乳幼児健診や癌検診	7	1.8%
16	小・中学校への入学	5	1.3%
	合計(のべ回答数)	379	100.0%

(14) 行政サービスに一番望むことは何ですか。

順位	項目	人数	割合
1	書類の多言語化	46	26.7%
2	外国人住民と日本人との交流や相互理解の機会提供	26	15.1%
3	やさしい日本語をつかう	25	14.5%
4	外国語で対応できる職員を増やす	21	12.2%
5	必要なとき(医療機関や公的機関など)の通訳派遣	17	9.9%
6	申請書などの書類にふりがなをふる	16	9.3%
7	図書館の外国語資料を充実させる	7	4.1%
8	ユニバーサルデザインの導入	0	0.0%
ー	その他	10	5.8%
ー	未回答	4	2.3%
	合計	172	100.0%

(15) 生活をしていて困ったときは誰に相談しますか。(すべて選択)

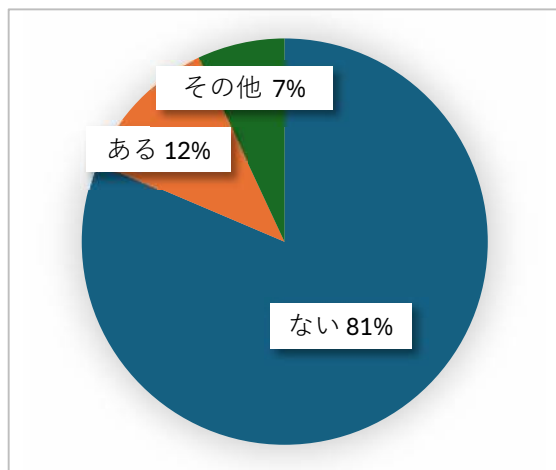
順位	項目	実数	割合
1	家族・親戚	39	21.5%
1	職場の人	39	21.5%
3	日本人の知り合い	29	16.0%
4	学校	23	12.7%
5	外国人の知り合い	18	9.9%
6	相談先がわからない	11	6.1%
6	その他の人に相談する	11	6.1%
8	相談する人がいない	4	2.2%
9	相談しない	3	1.7%
9	外国人向け相談窓口	3	1.7%
11	民間ボランティア	1	0.6%
	合計(のべ回答数)	181	100.0%

IV. 多文化共生について【相互理解・交流】

(16) 日常生活で日本人とどのような交流をしていますか。

順位	項目	人数	割合
1	世間話をする程度	68	39.5%
2	あいさつをする程度	60	34.9%
3	困ったときに助け合える程度	29	16.9%
4	家族同様に親しく付き合っている	11	6.4%
5	付き合いがない	4	2.3%
	合計	172	100.0%

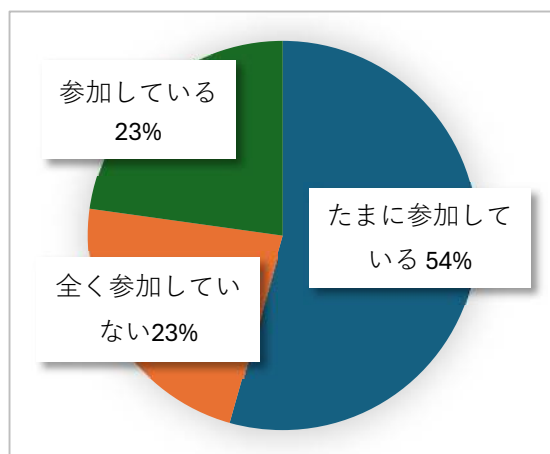
(17) 周りに住んでいる日本人とトラブルになったことはありますか。



◆「ある」と回答した方→トラブルの内訳

順位	トラブルの内容	実数	割合
1	ゴミの出し方	7	26.9%
2	交通マナー	6	23.1%
3	生活音などの騒音	4	15.4%
4	自治会費の支払い	1	3.8%
一	その他	8	30.8%
	合計	26	100.0%

(18) 日本人と交流するイベントへ参加していますか。



◆「全く参加していない」理由は

順位	理由	実数	割合
1	イベントの情報がなかった	18	47.4%
2	イベントの情報が理解できなかった	8	21.1%
3	イベントの内容に興味がなかった	7	18.4%
4	交流したくない	1	2.6%
一	その他	4	10.5%
	合計	38	100.0%

(19) まわりの日本人との間にどのような交流を希望しますか。

順位	項目	人数	割合
1	友達になりたい(もっと親しくになりたい)	68	39.5%
2	もっと日本の習慣などを教えてほしい	31	18.0%
3	日本語を教えてほしい	17	9.9%
4	互いに文化交流をしたい	16	9.3%
5	地域のイベントなどに参加したい	15	8.7%
6	もっとあいさつや声をかけてほしい	13	7.6%
7	ボランティア活動などに参加したい	9	5.2%
8	交流したくない	2	1.2%
ー	未回答	1	0.6%
	合計	172	100.0%

(20) かがわ外国人相談支援センターまたは丸亀市外国人相談窓口を利用したことはありますか。

項目	人数	割合
利用したことがある	10	5.8%
利用したことがない	81	47.1%
センター(窓口)の存在を知らない・わからない	81	47.1%
合 計	172	100.0%

V. 【保健・医療・福祉】について

(21) 健康保険に加入していますか

順位	項目	人数	割合
1	国民健康保険に加入	89	51.7%
2	職場の健康保険に加入	68	39.5%
3	加入しているかわからない	10	5.8%
4	健康保険制度を知らない	4	2.3%
—	未回答	1	0.6%
	合計	172	100.0%

(22) 公的年金に加入していますか

順位	項目	人数	割合
1	加入しているかわからない	52	30.2%
2	国民年金に加入	49	28.5%
3	厚生年金に加入	25	14.5%
4	公的年金制度を知らない	23	13.4%
5	加入する意思がない	13	7.6%
6	共済年金に加入	2	1.2%
—	未回答	8	4.7%
	合計	172	100.0%

(23) 病気やけがの場合はどうしていますか。

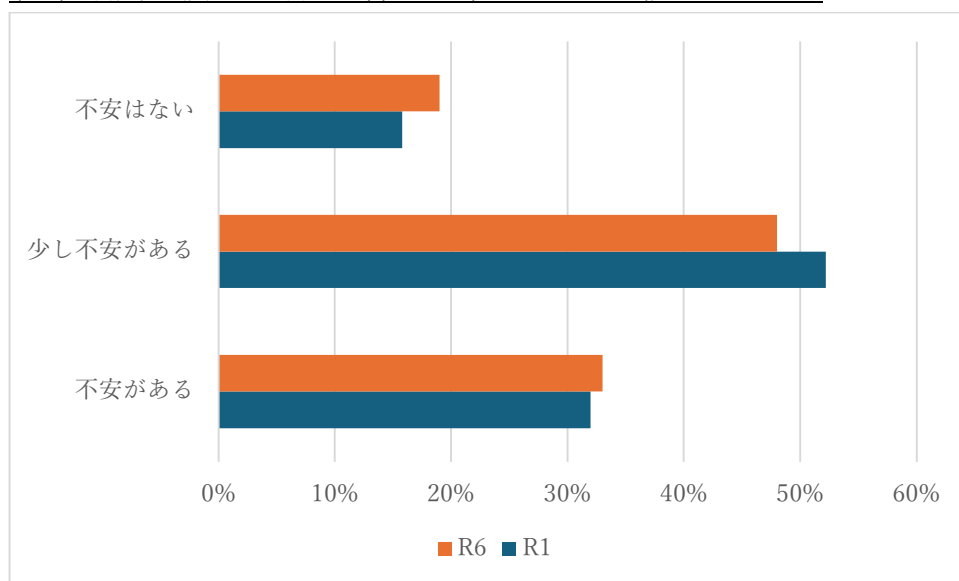
順位	項目	人数	割合
1	病院へ行く	108	62.8%
2	母国の薬を飲む	25	14.5%
3	薬局の薬を買って飲む	22	12.8%
4	家でじっとしている	13	7.6%
—	その他	2	1.2%
—	不明・未回答	2	1.1%
	合計	172	100.0%

(24) 病気になったときに一番困ることはなんですか。

順位	項目	人数	割合
1	特に困っていない	79	45.9%
2	どの病院へ行けばいいかわからない	29	16.9%
3	病院・薬局などでコミュニケーションがうまくいかない	23	13.4%
4	言葉の通じる病院がわからない	10	5.8%
5	医療費が高い	8	4.7%
6	必要な市販薬がわからない	7	4.1%
7	病院へ行く手段(交通機関)がない	4	2.3%
8	病院で診療を拒否される	1	0.6%
8	現金以外(電子マネーなど)で支払える医療機関が少ない	1	0.6%
一	その他	7	4.1%
一	未回答	3	1.7%
	合計	172	100.0%

VI. 自然災害【災害等】

(25) 台風・地震などの自然災害による緊急時について教えてください。



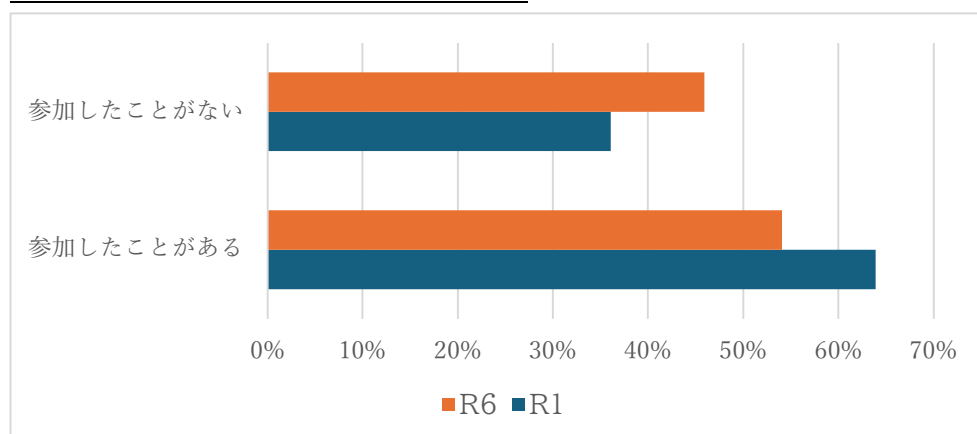
(26) 災害にあったとき、主にどうしますか。

順位	項目	人数	割合
1	インターネットなどで情報を収集する	78	45.3%
2	地域の人々に相談する	39	22.7%
3	家族・知人に相談する	31	18.0%
4	考えたことがない	8	4.7%
5	行政機関に相談する	6	3.5%
6	どうしていいかわからない	3	1.7%
一	その他	4	2.3%
一	未回答	3	1.8%
	合計	172	100.0%

(27) 災害などの不安をなくすために必要なことはどれですか。

順位	項目	人数	割合
1	避難場所や避難経路のわかりやすい案内表示があること	58	33.7%
2	外国人も防災訓練に参加しやすくする	24	14.0%
2	近所に住む人たちと助け合える関係性を築いておく	24	14.0%
4	日頃から多言語で災害などについての情報提供や相談対応をする	22	12.8%
5	多言語化された緊急時対応用のパンフレットがあること	21	12.2%
6	緊急時のためのネットワークを構築する	14	8.1%
一	その他	8	4.6%
一	未回答	1	0.6%
	合計	172	100.0%

(28) 防災訓練に参加したことがありますか。



VII. 子どもの教育 【子育て・教育】

◆「子どもがいる」方→(29)(30)

(29) 日本での子育てのために必要なことは何ですか。(3つまで選択)

順位	項目	実数	割合
1	子育てで不安なことを相談する人・ところ	27	15.4%
1	仕事中に子どもを預けられるところ	27	15.4%
3	子育て中の親同士の交流機会	26	14.9%
3	保育所や学校の入所・入学手続き	26	14.9%
5	子どもを対象とした医療費助成や医療サービスについて	25	14.3%
6	母国語の通じる病院	12	6.9%
7	近くで育児・子ども用品を売っているところ	7	4.0%
ー	その他	25	14.2%
	合計(のべ回答数)	175	100.0%

(30) 子どもの教育についての悩みはありますか。(3つまで選択)

順位	項目	実数	割合
1	教育費が高い	18	12.0%
2	子どもがいじめられる	14	9.3%
2	子どもに友人がいない	14	9.3%
4	子どもが、授業の内容を理解できない	13	8.7%
5	母国語・母国の文化を教えられない	11	7.3%
6	日本の教育制度や学校の規則等がよくわからない	10	6.7%
6	進学に関する情報が不足している	10	6.7%
8	子どもが、日本語ができない	6	4.0%
8	子どもの友達の親と仲良くなれない	6	4.0%
10	特にない	28	18.7%
ー	その他	20	13.3%
	合計(のべ回答数)	150	100.0%

VIII. 雇用・労働 【仕事について】

(31) 現在仕事をしていますか。

仕事をしている【◆】	145
仕事をしていない	14
未回答	13
合計	172

◆「仕事をしている」と答えた方→(32)(33)へ

(32) 現在の職についたきっかけはどれですか。

順位	項目	人数	割合
1	知人友人の紹介	29	20.0%
2	人材派遣会社からの派遣	17	11.7%
3	日本で自分自身で職を探した	16	11.0%
4	日本の企業・大学からの要請	14	9.7%
5	民間の職業紹介所の紹介	12	8.3%
6	母国本社からの派遣	3	2.1%
7	ハローワークの紹介	2	1.4%
一	その他	50	34.5%
一	未回答	2	1.3%
	合計	145	100.0%

(33) 日本で仕事をする上での不満はありますか。(3つまで選択)

順位	項目	実数	割合
1	賃金が安い	51	23.5%
2	日本人に比べ待遇が悪い	21	9.7%
3	労働時間が長い	18	8.3%
4	人間関係がうまくいかない	17	7.8%
4	問題を相談するところがない	17	7.8%
6	募集人数が少ない	16	7.4%
6	正社員になれない	16	7.4%
8	差別を受ける	14	6.5%
9	雇用契約と実際が異なる	8	3.7%
一	その他	39	17.9%
	合計(のべ回答数)	217	100.0%

(34) (引き続き)日本で働きたい、または就職したいと思いますか。

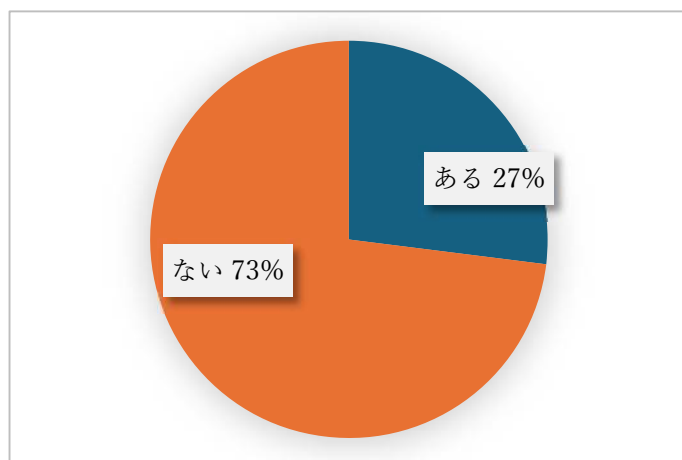
順位	項目	人数	割合
1	香川県で働きたい	65	37.8%
2	香川県外で働きたい	46	26.7%
3	わからない	33	19.2%
4	母国で働きたい	21	12.2%
一	未回答	7	4.1%
	合計	172	100.0%

(35) 勤務先や勤務地域を選ぶときに重視することを教えて下さい。(3つまで選択)

順位	項目	実数	割合
1	賃金が高い	84	20.4%
2	仕事とプライベートが両立できる	80	19.5%
3	希望する業種である	70	17.0%
4	長期雇用が保証されている	41	10.0%
5	慣れている仕事である	28	6.8%
6	物価が安い	26	6.3%
7	都会で働きたい	22	5.4%
8	知り合いがいる地域	14	3.4%
9	自然が豊かな所で働きたい	13	3.2%
9	愛着のある地域である	13	3.2%
11	有名な企業である	6	1.4%
一	その他	14	3.4%
	合計(のべ回答数)	411	100.0%

IX. 外国人であることによる差別

(36) 日本人でないことにより扱いが違うと感じることはありますか。



◆「ある」と答えた主な意見(一部要約)

●直接的な差別や日常的な疎外感

- ・外国人を見下している
- ・人種差別がある
- ・暴力を受けた
- ・職場で、日本人スタッフには丁寧に接するが、自分には冷たい態度をとったり、態度が悪いスタッフがいた。
- ・外国人であることを分かってから敬語からタメ口になる
- ・何か問題が起こったとき、私の話を聞いたり信じてもらえない
- ・視線・態度による拒絶(じろじろ見られる、変な目で見られる、陰口を言われる、迷惑がられているように感じる)
- ・物理的な回避(公共交通機関で隣に座るのを避けられる、周囲の人々が自分から離れていく、誰も挨拶や話しかけをしてくれない)

●店舗や医療機関での拒絶・対応の格差

- ・飲食店での対応が日本人とは違うと感じる(注文が後回しにされる、入店拒否など)
- ・クリニックで治療を拒否され、子どものように話された

●言語・能力に対する偏見や過小評価

- ・日本語の能力や仕事の能力を低く見られたり、対等な大人として扱われなかったりすることがある
- ・外国人が全く日本語を話せないと思われてしまう
- ・日本語で話したのに、英語で返事された
- ・子どものように扱われる
- ・外国人が良い仕事をしたり、一生懸命働いたりすることは期待されておらず、軽んじられていると感じる。

(37) あなたが思う香川県の魅力、行政に対する要望

◆主な意見について掲載（必要に応じて要約）

【魅力について】

●豊かな自然とクオリティの高い「美・文化」

- ・瀬戸内海、山、きれいな花など、豊かで美しい自然環境が身近にある。
- ・「直島のアート」や「遍路」など、世界に誇れる素晴らしい文化・観光資源がある。食文化(うどん)も素晴らしい。
- ・気候が穏やかで涼しく、街並みがとても清潔。

●「暮らしやすさ」とコストパフォーマンス

- ・東京などの大都市に比べて物価やアパートの家賃が安く、生活費を抑えられる。
- ・大都市の便利さ(充実したスーパーや医療)がありながら、地方の静かで落ち着いた雰囲気と同時に享受できる。
- ・日本の中でも特に災害が少ないため、不安なく平和に暮らせる。
- ・治安が良く、安全で平和な環境が整っている。街並みが清潔。
- ・住民が礼儀正しく、友好的で親切。
- ・留学生や外国人向けの施設(I-Pal)や情報発信など、受け入れの基盤が一部整っている。

【要望について】

●言語・コミュニケーションに関する要望

- ・多言語対応の強化: 公共の場や重要情報における英語、インドネシア語などへの多言語翻訳・情報提供。
- ・日本語学習の支援: 日本語を学ぶための手段や方法をもっと広く知りたい。

●生活支援に関する要望

- ・手続きの簡素化(運転免許証の取得など)
- ・ビザ手続きの不安解消: 長年住んでいてもビザ更新時に問題が生じる不公平さや、理由が不透明であることへの不安を取り除いてほしい。
- ・生活インフラの向上: 特に農村部などでの交通利便性の向上、街灯の増加、娯楽施設を含む商業施設の拡充。
- ・直行便の新設: ベトナム等への直行便(帰国時、他県の空港へ行かなければならず時間と費用負担が大きい)。

●労働環境・経済面への要望

- ・賃金の引き上げ: 生活費や物価の上昇に伴い、賃金の引き上げや、より高い給料で働ける良い仕事
- ・技能実習生の保護: 脅迫、暴力、強制労働、規則違反の強要などを絶対に許さず、実習生を適正に守る仕組みと差別の解消
- ・就業支援: 日本語が話せない労働者への就職支援など

●日本人との交流、意識啓発に関する要望

- ・日本人との交流イベントや、生活・法律情報を共有できるイベントの増加を期待。
- ・大都市に比べてまだ外国人に慣れていない地元住民が、多文化共生の視点を持てるようになってほしい。